

退院前の訪問指導

退院後に「まずは自宅でゆっくりしたい。」などのお声を頂くことがあります。しかし、身体を動かさない期間が続くと筋肉が衰えたり、関節の動きが悪くなったりします。そして転倒をしやすくなったり、家に閉じこもりやすくなるなど、ケガや介護負担の増大につながりやすくなります。

当院では退院前の訪問指導や自主訓練の指導時に、可能な範囲で身の回りの事や家事を行って頂くことの助言、通所系サービスや訪問リハビリなどの体制を整える調整、外出支援などを患者さんごとに組み合わせて実施しています。



お尻上げ (ブリッジ)
膝を90°に曲げてお尻を持ち上げる
回数：20回×2セット
時間：朝・夕の布団の上で行う



腹筋運動
膝を曲げた状態から頭を上げる
手をお腹にのせる
回数：20回×2セット
時間：朝・夕の布団の上で行う

自主訓練表の作成



外出動作の確認

リハビリ新聞
豊田えいせい病院



2023年
2月28日
第46号

症例検討会を実施しました



今回の症例検討会は課題の共有を行ったのちに対応策の検討を行いました。

日々のリハビリ介入で感じている課題、特に身体・生活に関する課題を共有しました。そして挙げられた課題の対応策を検討し、症例ごとの介入方針の決定までを行いました。

今回の検討会では課題を共有したことで、焦点を絞った検討ができました。今後も検討会を実施しリハビリ介入に活かしていきたいと思えます。

注意機能を鍛えましょう~パート2

注意機能の低下は「転倒」にもつながります。「二つの課題(二重課題)を同時に処理できない場合、転倒リスクが高まる」と言われています。歩行中に会話をされると足が止まってしまうことはありませんか?心当たりのある方は「二つのことが同時にできない」注意機能の低下により、転倒しやすい状況になっているかもしれません。前回に引き続きトレーニングしてみましょう。

問題. 以下の文字について、まずは漢字の「読み」を読み上げてください。続いて「文字の色」を読み上げてください。

赤	黄	青	黄	緑	青	赤	黄	黄
黄	青	赤	赤	黄	黄	青	緑	緑
赤	黄	緑	黄	赤	青	青	緑	黄
緑	緑	青	赤	黄	黄	緑	青	赤
緑	赤	青	青	緑	黄	青	緑	黄

ぜひやってみてください。

“FUS”とは?

当院で行っている最先端の“ふるえ(振戦)治療です! 詳しくはQRコードから!!



豊田えいせい病院 診療技術部

回復期リハビリ科	TEL : 0538-34-6123	FAX : 0538-34-6231
療 養リハビリ科	回復期リハビリ科と共通	
包 括リハビリ科	回復期リハビリ科と共通	
通 所リハビリ科	TEL : 0538-34-6223	FAX : 0538-34-6222
訪 問リハビリ科	TEL : 0538-34-6137	FAX : 0538-34-6231